

## 各区だより

熱田区  
あつた3年ぶりに  
各種行事を開催

コロナ禍のため中止していた「ペタンク大会」と「熱田区老人クラブのつどい」を3年ぶりに開催しました。久しぶりのため、準備や運営の手順を忘れていたところもあり、みんなでも思い出したり、当時の資料を引っ張り出したりしてやっと開催にこぎつきました。

「ペタンク大会」は感染拡大防止に注意を払い、5月25日に熱田区大瀬子公園で開催。当日は暑くもなく寒くもない快適な日和でした。3年ぶりのことなので、すぐに試合をするのではなく、ゲームを思い出していたため、まずは練習から始めました。

皆さん久しぶりの試合に、時には真剣に、時にはのびのびと楽しんでいました。「熱田区老人クラブのつどい」は、7月13日に熱田文化小劇場で開催。感染拡大防止のため、



参加者や出演者の数を制限。3年のブランクは大きく、区老人クラブの理事も変わり、劇場側の職員も異動していて、前回は劇場側がやってくれたところを今回は主催者が行わなければならぬ状況に大慌て。ヒヤヒヤする場合もありましたが、何とか実施することができました。

第一部大会では、最初に老人クラブの発展に功績のあった方へ感謝状が贈呈されました。続いて第二部芸能大会が開催のため、出演者の方からは「待ってました!! 長い間待ち望んでいました!!」という、うれしい歓迎の声が上がりました。新型コロナウイルスで外出運動の機会が減っています。休憩時間を利用して



コモ予防体操を行いました。出演者は一生懸命演技をし、観客も声援で応え、皆さん、久しぶりの芸能大会を満喫されていました。(加納 年子)

中川区  
なかがわ健康づくりと  
生きがいを求めて

清掃活動では、バス通りの歩道(1・6キロメートル)を4区画に分け、それぞれグループを決めてピンヤカンの収集と可燃ゴミ拾い、雑草取りを行っています。

交通安全活動では、各町内会と合同で老人クラブが登校日に主要な交差点で児童を見守っています。

社会見学は、新型コロナウイルス感染症がまん延してからの2年間は、活動を中止しています。これ以外は、3密を避け手の消毒、マスク着用を徹底しながら活動を続けています。

これからも会員相互が連携し、健康で生きがいを求めて楽しく日々を送れることを願っています。(二村 眞弘)

五反田学区は、松蔭地区の一部を含み、庄内川と新川に挟まれた地区にあります。五反田学区連合老人会(会長・日比基之)は7クラブ会員で構成されています。

主な活動は、グラウンド・ゴルフや主要道路歩道の清掃、毎朝交差点などで登校時の交通安全、年2回の社会見学で、担当を決め自主的に実施しています。

年間予定表を定めています。詳細は、奇数月第3土曜日の役員会で決定し、各クラブを通じ会員に連絡しています。

このうち、グラウンド・ゴルフは大人気で、年間5〜6回ある学区老連主催の大会には、毎回40人前後の会員が参加しています。コロナ禍前は、多いときには60人以上が参加したこともあり、高齢者の健康づくりと親睦に適したスポーツです。

